

# 青森市子どもの権利相談センターだより

令和2年1月

青森市子どもの権利  
相談センター発行



## 調査活動・調整活動とは？

### スタート

困ったこと心配なこと  
嫌だと思ったことを  
お話してみよう！

※秘密は必ず守ります

### 相談する

あなたの気持ちや  
意見を聞いて1番良い  
方法を考えます

### 解決する

あなたが安心するま  
でお話を聞くことが  
できるよ

## 調整活動

子どもの権利が侵害されている状態とは、子どもを中心とするお互いの関係が歪んでいたり一方通行になっている状態と考えられます。そのため、お互いの考えていることを理解し合い、存在を認め合い、問題解決のために協力し合えるように、関係を整える活動が「調整活動」です。

## 調整する

## 救済の申し立て

## 事実の調査

「子どもの最善の利益」（子どもの権利条約第3条第1項、条例第3条第1号）を基本理念とした支援の過程であり、子どもにとってより良い状況が作り出されることを目指すものです。



大学の先生  
小林 央美委員

子どもの権利擁護委員



臨床心理士  
公認心理師  
関谷 道夫委員



弁護士  
沼田 徹委員

## 平成30年度の調整活動・調査活動

### 【調整状況】

平成30年度は5案件について延べ8回実施しました。

相談項目	案件数	調整先	回数
教職員等の指導上の問題	2件	中学校	2回
心身の悩み	1件	市教育委員会	3回
学校の対応	2件	市教育委員会	3回
合計	5件		8回

### 【調査状況】

平成30年度は6案件について延べ28回実施しました。

相談項目	案件数	調整先	回数
教職員等の指導上の問題	4件	学校	22回
家庭内虐待	1件	家庭	2回
行政機関の対応の問題	1件	行政機関	4回
合計	6件		28回

## ～事例紹介～

部活動が大好きな中学生Aさんは「基礎練習と先生の手伝いばかりで、コートに入って練習する機会がなく悲しい。」とセンターに相談に来ました。身体を動かすのが好きなので部活動はやめたくないと思うのだけれど、「コートで練習したいなあ…」と毎日思っているそうです。また部活動は毎日あり、休みがないことや、遅くまで練習をするのがやっとなで睡眠時間が十分取れず朝起きれないことがたびたびあるとのことでした。

このことを学校のアンケートに書いて提出しましたが、取り上げてもらえなかったそうです。担任もその他の先生も優しいし、いい学校だと思えるけれど部活動のことは何とかしてほしいと思って相談したそうです。

そこで、子どもの権利擁護委員がAさんの話をしっかりと聞き、先生からも話を聞くために中学校を訪問しました。校長先生にAさんの気持ちを伝え、今後の対応について考えてもらうことにしました。

その後、学校全体で部活の活動日数や活動時間について見直しをしたそうで、Aさんからの電話では休みの日があったこと、活動時間も守られるようになったこと、コートでの練習を全員ができるようになったことなどを嬉しそうに話していました。

## 子ども会議フォーラム2019 ～FOR CHILDREN～

### 第1部 私たちからの意見提案

- ・新町商店街に子どもが親しみを  
【テーマ】 持てるような魅力づくり
- ・子どもが体を動かして楽しく遊べるまち



子ども会議委員が、大好きな青森市について調査研究し、議会形式で青森市に、まちづくりに対する意見提案を行いました。

### 第2部 子ども会議トークイベント

【読み聞かせ】 学校や家庭での「？（はてな）」



子ども会議委員が、身近な問題について読み聞かせにより事例紹介し、問題解決に向けた意見交換を行いました。

11月20日は  
青森市子どもの権利の日



子どもの権利条例では11月20日を「青森市子どもの権利の日」とし、この日にふさわしい活動を行うこととしております。

